

沖縄総合事務局総務部入札監視委員会(平成30度2回)議事概要

開催日時及び場所	平成30年9月3日(月)15時00分～17時00分 沖縄総合事務局6階 特別会議室	
出席委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当山尚幸(委員長:弁護士)</li> <li>・酒井一人(琉球大学農学部教授)</li> <li>・崎山律子(フリージャーナリスト)</li> <li>・名嘉座元一(沖縄国際大学経済学部教授)</li> <li>・宮城千春(公認会計士)</li> </ul>	
審議対象期間	平成30年4月1日 ～ 平成30年6月30日	
項目	抽出案件	備考
総件数	119 件	
工事	5	
① 一般競争入札方式(政府調達)	1	
② 一般競争入札方式	4	
③ 工事希望型競争入札方式	0	
④ 指名競争入札	0	
⑤ 随意契約	0	
建設コンサルタント業務等	30	
① 一般競争入札方式	14	
② 公募型競争入札方式	0	
③ 簡易公募型競争入札方式	10	
④ 指名競争入札	0	
⑤ 公募型プロポーザル方式	0	
⑥ 簡易公募型プロポーザル方式	4	
⑦ 標準プロポーザル方式	0	
⑧ 参加者の有無を確認する公募手続きを行った契約	0	
⑨ 随意契約	2	
役務の提供等及び物品の製造等	84	
① 一般競争入札方式	47	
② 指名競争入札	0	
③ 企画競争方式	11	
④ 参加者の有無を確認する公募手続きを行った契約	8	
⑤ 随意契約	18	
<b>議事</b> 1. 指名停止等の運用状況について 2. 平成30年4月～6月における公共工事等の発注状況について 3. 抽出事案の審議について		
委員の意見・質問等	回答	
1. 工事 ○ 宮古伊良部農業水利事業仲原地下ダム底原排水トンネル建設工事 〔 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 入札方式 一般競争入札(総合評価落札方式)</li> <li>・ 業種区分 農業土木工事</li> <li>競争参加資格</li> <li>・ を確認した者の数 5者</li> <li>・ 入札者数 4者</li> <li>・ 契約締結日 平成30年6月29日</li> <li>・ 契約の相手方 西松・屋部宮古伊良部農業水利事業仲原地下ダム底原排水トンネル建設工事共同事業体</li> <li>・ 契約金額 900,720千円</li> </ul> 〕  ・ 入札者数が4者というのは、金額の割には少ないのではないかと。	・ 競争参加資格を確認した者に確認したところでは、熟練工の手配や、離島のため本土や本島から配置しづらいということもあり、相当数が控えているのではないかとのことであった。	

委員の意見・質問等	回答
<p>2. 設計コンサルタント業務等</p> <p>○ 平成30年度宮古伊良部農業水利事業 現場技術 (その1)業務</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 入札方式 一般競争入札(総合評価落札方式)</li> <li>・ 業種区分 建設コンサルタント</li> <li>競争参加資格 ・ を確認した者 2者の数</li> <li>・ 入札者数 1者</li> <li>・ 契約締結日 平成30年4月2日</li> <li>・ 契約の相手方 NTCコンサルタンツ株式会社九州支社</li> <li>・ 契約金額 38,772千円</li> </ul> <p>・ 1者応札となった理由は何か。</p>	<p>・ 本件現場技術業務は、工事自体が難工事で管理自体もシビアであることからではないかと想像している。 辞退了1者へ理由を確認したところ、予定していた技術者が手配できなかったためと聞いている。</p>
<p>委員の意見・質問等</p> <p>3. 役務の提供及び物品の製造等</p> <p>○ 沖縄総合事務局TV会議システムの更改・保守業務及びWAN回線サービスの調達一式</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 入札方式 一般競争入札(最低価格落札方式)</li> <li>・ 業種区分 役務の提供</li> <li>競争参加資格 ・ を確認した者 1者の数</li> <li>・ 入札者数 1者</li> <li>・ 契約締結日 平成30年4月2日</li> <li>・ 契約の相手方 エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社九州支店</li> <li>・ 契約金額 388,584千円</li> </ul> <p>・ 他社が参加できないような独占的な技術が含まれていたのではないかと。</p>	<p>・ 独占的な技術は含まれていないため、どの会社でも参加することが可能であった。そのため、複数者による競争になると予測していたが、IT分野においても人手不足が厳しいということや、エリアも離島や東京が含まれている、技術的にも高い水準を必要とすること等から、結果的に1者になってしまったのではと考える。</p>
<p>委員の意見・質問等</p> <p>4. 役務の提供及び物品の製造等</p> <p>○ 平成30年度ガソリン等単価契約(沖縄本島地区、伊江島地区、宮古島(本島)地区、石垣島(本島)地区)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 入札方式 随意契約</li> <li>・ 業種区分 物品の販売</li> <li>・ 契約締結日 平成30年4月2日</li> <li>・ 契約の相手方 沖縄県石油業協同組合</li> <li>・ 契約金額 単価契約</li> </ul> <p>・ どのような理由で随意契約を行っているのか。</p> <p>・ 単価契約は1年間同じ金額か。</p>	<p>・ 災害時等における石油類燃料の供給に関する協定を締結しており、平時より協力関係を築き燃料供給が安定的に行われる環境を維持していく等の理由から随意契約を行っている。</p> <p>・ 沖縄県が公表する石油価格をもとに必要に応じ変更契約を行っている。</p>